

希望を語る

2000 年 8 月発足

20年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局:健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com

コロナ終息は近いうち起こる

院長 水上 治

先日、上海在住の日本人医師と Zoom で話していたら、中国ではコロナがほぼ終息して、経済は活発、人々はマスクをしていないとのこと。むしろ外国人がコロナを運んでくるのを警戒しているそうです。これは中国人がほぼ集団免疫を達成していることを意味します。なぜならワクチンや特効的な治療薬も使われていないからです。封鎖をしていなかったスウェーデンはイタリアなどに比べて死亡者は多くありません。

わが国ではまた感染者が増えているとのことですが、PCR検査が増えれば感染者も余計あぶりだされます。幸い重症者も死亡者も増えていないので、私はあまり心配していません。あるデータでは東京都民全員が新型コロナウイルスの抗体を持っていました。

寒くなってきてインフルエンザとコロナ併発の恐れが報じられていますが、ここではウイルス干渉が語られていません。同時に 2 つに罹ることはなく、風邪に罹ってできる抗体が新型コロナウイルスにも効果を発揮しますので、重症化しにくいのです。

今回の事件で不満なのが、政府のチームに免疫学者を外していることです。はっきり言って、専門家と称しても免疫に疎い人達ばかりで、ウイルス感染は最終的には自分の免疫機能で勝利するのが基本です。無菌動物が軽い感染でも死に至るのは、免疫細胞が訓練されていないからです。時に外に出て風邪に罹ることで、私たちは免疫細胞を訓練しているのです。

何度も申し上げているように、ビタミンC点滴はウイルス感染に極めて強いのです。ビタミンCはあらゆるウイルス感染細胞を破壊します。コロナを恐れすぎないようにしたいものです。

その3 感謝、安堵、冷汗

それは猫の手も借りたいほどの集中事務になってしまった。国と地方の選挙の開票が同日になったので、毛呂山町役場もその準備に追われ、毎日時間外業務をして多忙の日でした。そんな中、女房がC型肝炎になり入院することになり、長男長女は小学校に通学できたのですが、次男が5歳未満でやむを得ずこの息子を連れて出勤したものの、さてどうしたらよいのか。役場の中を見て回り上司に見つからないよう別棟の女性職員さんに子守をお願いしたら、快く引き受けて一日子守をしていただいた。忘れられない感謝の日であった。

また、その日大切な投票用紙一束（100枚）が見つからなくなった。

大変だ、紛失すれば「首になるのを覚悟」しながら誰にも話さない。夕方、ロッカーの奥の片隅に転がっていた。ほっとした後、腰が抜けて冷や汗がびたすら顔をぬらした。昭和45年春。私生活でも困った時は隠さず上司に相談して、仕事の譲り合いをした方がよかったかなと思った。人に助けられたことの有難さは生涯忘れることはありません。

その4 百年かかります

先のオリンピック（昭和39年西暦1964年）後の日本列島は、高度成長に突進し、目茶苦茶に都市化となって本町も続々と団地が誕生しつつあった。新しい都市計画法に基づき、本町では「都市計画街路」を計画。設定に向けて原案を造り、11本の路線を町議会に議案を提出した。或る議員からの質問で、この11本の街路が完成するのに何年かかるのかとの質問。計画だけを造るのに夢中だったため道路の建設完成のことは頭の片隅にもない。目の前が真っ暗になり、とっさに「百年かかります」と心にもない言葉を答弁。議場は一同大笑い。質問した議員からは、そんなでたらめな回答なのかと御叱りを受けた。昭和52年夏。

百年という歳月はとても長く、道路が完成する期間が分からないとはいえ、余りにもでたらめな答弁をしたことを深く反省。でも、あれから40年余り、現在3本しか完成してない。

その5 別れのことは

自分の生涯の仕事を、住んでいる地元の自治体に40年間お世話になったことに、この上ない感謝です。私は多忙な40年間を通じて充実した仕事をしたものと自負しております。退職に当たり、3月議会最終日のあいさつに「自分のした仕事は失敗やら間違いやら大過だらけでした。でも自分は満足しています」と申し上げました。（普通なら大過なくと言うべきところ）特別職員や議員各位が皆苦笑をしておりました。平成5年3月。

生まれながらにして不器用な性格にもかかわらず、重要職に配置されながら、失態を行い町行政にご迷惑をかけたことを深く反省しながら、退職したのでした。

五行歌

小林美智代さま

どんより
曇った日は
体の動きが
にぶく
心身もたまた

老いは
人の風ぼうをかえ
考え方も変えていく
あわてることはない
誰もみな同じ

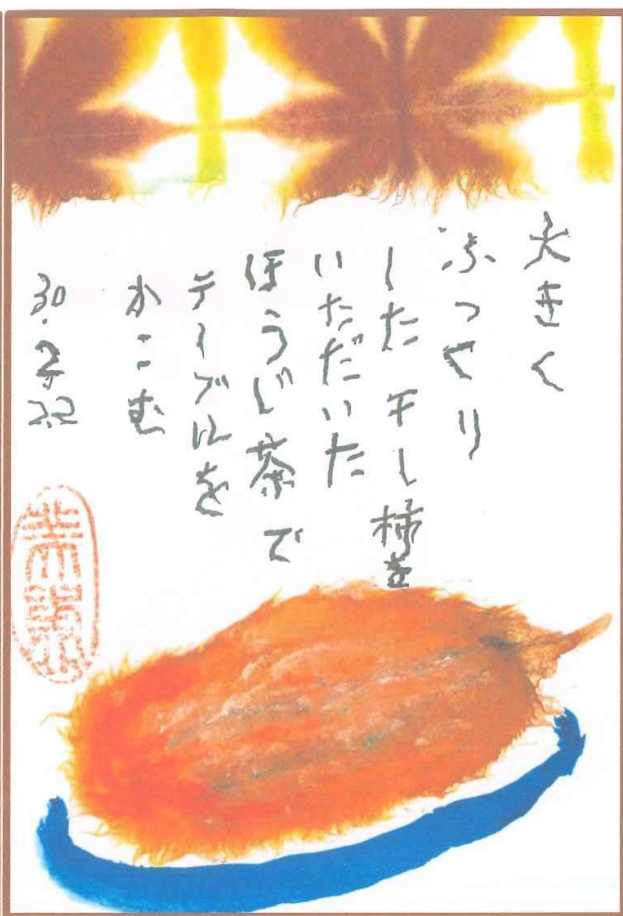
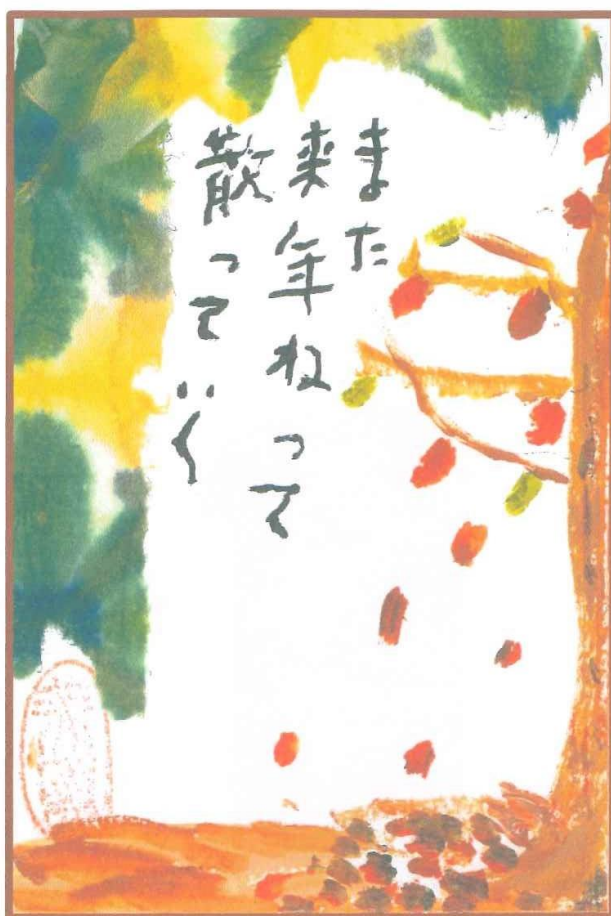


昭和記念公園

M.I

みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



佐藤様は H7 年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24 年より当院にて鍼治療を開始しました。加藤医師の勧めで始めた絵手紙。もともとは右利きですが、左の麻痺を克服するために、左手で書いています。それを北海道在住の妹さんに送ったところ、とても喜んでくださり、カレンダーにしてくださいました。(待合室のドアのところに飾っています)



クリスマス音楽会

12/8（火） 11時30分～12時30分

コロナ感染予防の為、当日点滴中の患者様のみ 20名まで
点滴フロアーにて 参加費無料

曲目

J.S.バッハ	G 線上のアリア	
モーツァルト	ヴァイオリンソナタ KV301 より	アレグロ
パラディス	シシリエンヌ	
アメリカ民謡	アメイジンググレイス	他

演奏者

ヴァイオリン 小池はるみ ピアノ 水上いづみ



完全予約制



☆今月のお花☆ドラゴン柳・薔薇・ヒペリカム・ゴットセフィア



今月のお花は龍のようにくねくねしたドラゴン柳。可愛い緑色の実をつけたヒペリカム。斑点の葉がはいるだけで爽やかな感じになるゴットセフィア。それに白い薔薇。

白い薔薇は気品があり、近寄りたがい美しさがあります。先月号にも登場したナポレオン王妃のジョセフィーヌはダリアだけでなく、薔薇も大変愛し、庭に250種もの薔薇を植えていたそうで、今でも「ジョセフィーヌ・ド・ボアルネ」という品種まであるそうです。

白い薔薇の花言葉は「純潔」「私はあなたにふさわしい」「深い尊敬」 M.I

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りたい事、その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら是非、事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております。